

第7回教育委員会（定例）議事録

1 開 会

令和6年10月21日（月） 14時00分

2 場 所

市役所第2庁舎3階 2-301・302会議室

3 会議に出席した委員

教育長 丹後 政俊
委 員 西田 正志
委 員 鈴木 友美
委 員 吉良 佳晃
委 員 倉 眞智子

4 会議に出席した職員

学校教育部長 酒井 寛興
こども未来部長 田中 正典
社会教育部長 小林 康弘
学校教育次長 浅田 智広
教育総務課長 山内 俊秀
学校教育課長 小嶋 拓也
学 事 課 長 荒木 敏文
教育研究所長 足立 圭吾
東部学校給食センター所長 井上 尚和
子育て企画課長 山鳥 有史
保育教育課長 山田 康弘
社会教育・文化財課長 田中 和哉
市史編さん課長 小島 理三
田園交響ホール館長 酒井 直隆
中央公民館長 竹見 朋子
学校教育課副課長 木村 匡宏
教育総務課主査 北尾 真理奈

5 議事日程及び議案

別紙の通り

6 開会宣言

14時00分

7 会 期

（自）令和6年10月21日 （至）令和6年10月21日 1日間

8 会議録署名委員名簿

鈴木友美委員

9 閉 会

15時15分

丹後教育長 全委員 丹後教育長	日程第 1、令和 6 年度第 6 回会議録の報告、承認について意見等はないか。 異議なし。 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。
丹後教育長	日程第 2、会議録署名委員は、2 番鈴木友美委員を指名する。
丹後教育長	日程第 3、会期は令和 6 年 10 月 21 日、本日 1 日間とする。
丹後教育長	日程第 4、協議に移る。協議第 3 号「中学校部活動改革の方向性について」、学校教育課に説明を求める。
小嶋課長	《議案書に基づき説明》
西田委員 小嶋課長 西田委員 小嶋課長 吉良委員 小嶋課長 吉良委員 小嶋課長	兵庫県部活動地域移行推進計画の上位に国の方針があるのか。 スポーツ庁の通知に基づき、県が計画を策定していると認識している。 スポーツ庁の方針の正式名称は何か。 後刻報告する（後刻資料配付）。 部活動指導員及び部活動推進員については、元教員の方が多いのか。 元教員ではない方もいる。 野球やテニス等においては一定の目途が立っているのか。 特に目途はたっておらず、公募していく予定である。なお、部活動推進員については、部活動を地域に移行していくための体制整備の役割も次年度は担っていただきながら、令和 8 年度からは部活動指導員に吸収される形を予定している。
西田委員 小嶋課長	地域連携については、これまでの体制と変わらないということか。 部活動指導員については、これまでから土曜日や日曜日に先生にかかわって指導することも依頼しており、その面ではそのとおりである。
西田委員	地域連携においては、必要に応じて教員も関わるような記述となっているが、それでは今までと何も変わらないのではないか。
小嶋課長	土曜日及び日曜日に教員が従事しない体制をつくることが大原則であるので、そういったことも校長会を通じて周知していく。現在でも部活動指導員は、単独で行動ができる状態にもなっており、土曜日及び日曜日に、全ての部活動において指導員が確保できれば、基本的に教員が土曜日及び日曜日に部活動指導に関わることはなくなると認識している。
西田委員	部活動に携わりたい先生が一定数おられると思うが、この条件が揃えばやりたいという先生も関わることはできないという理解でよいのか。地域移行の場合、兼職兼業の届けを出すことによって、部活動の指導に関わることが可能である一方で、地域連携においては部活動指導員が確保できた場合、やりたいと思っても、できないと理解してもよいのか。
小嶋課長	原則、土曜日及び日曜日に教員が従事しない形に持っていきたいと考えて

西田委員	いる。
小嶋課長	働き方改革の中で、好きでやっているということがないように教育委員会 といて指導していくべきと考えるが、どうか。
西田委員	指導していく。
小嶋課長	事務局が強く指導していかなければ、読み方によっては抜け道につながる と思う。あえて言わせていただくなれば、部活動がずっと続いてきた中で、 地域から子どもを分断する、家族との触れ合い時間を奪っていく、未だに保 護者に送迎を頼っていて責任問題を曖昧にしている等、弊害もたくさんあつ たと思う。そういうことを改めていくことも今回の改革には含まれていると 思うので、基本姿勢はきちんと持つておくべきであると思う。部活動指導を 続けたいという先生もおられる中、もし事故が起こった場合の責任等も含 め、きちんと現場に伝えていくべきと思う。そうした意味でも地域移行を目 指すべきと考えるが、資料を見ると、地域連携でも良いと思われかねないと 危惧する。
小嶋課長	将来的には部活動指導員も受皿になっていただけるように、そういった研 修を含めて考えていきたい。指導だけではなく、その地域のスポーツ競技を 中心になって担っていくこともあわせて、部活動指導員を採用していき たい。また、1～2 人ではなくて複数人を確保しながら、最終的には協会が受 けてくれればありがたいが、そういった体制づくりについても、市教委と一 緒に考えていければと考えている。その上で、最終的には土曜日及び日曜日 は、基本的に教員が関与しない体制への移行を描いている。
西田委員	テニスやバスケットボールについては、小学生のクラブチームがあり、指 導者もおられる中、うまく進まない要因は何か。
小嶋課長	これまでの部活動指導員については、まず学校で協議し、専門的に指導で きる教員がいなかった場合に公募し、その方に指導をお願いや相談、協議を しながら一緒に働いてもらう形になっており、野球やテニス、バスケットボ ールの指導員がいないのは、指導できる教員がいるということである。 今後、土曜日及び日曜日を完全に先生からを外していく場合においては、 こういった競技の部活動指導員も募集していくことになるので、こうした枠 も埋まっていくのではないかと予想している。なお、テニスについては、実 現できそうな流れもあつたが、結果としてうまくいかなかった。今後におい ては、受け皿と期待している協会にも色んな事情や考え方もあることを踏ま え、丁寧に進めていきたいと考えている。
丹後教育長	協議第 3 号、「中学校部活動改革の方向性について」は、ここまでとする。
丹後教育長	日程第 5、報告事項に移る。報告 1「寄附採納について」、教育総務課に 報告を求める。
山内課長	《議案書に基づき報告》

西田委員	特定非営利法人不登校のための学校カウンセリングセンターの取組内容等を教示されたい。
山内課長	10年ぐらい前に、兵庫教育大学の事務職員を退職された小嶋氏と当時の大学院教授が中心となって立ち上げられたNPO法人で、当時の新聞記事を見ると、子ども本人ではなく、家庭に出向き、保護者等を対象とした出前カウンセリング事業に取り組みられてきたようである。10年が経過、高齢に伴い活動の維持が難しくなり法人を解散することになった際に、余ったお金をご寄附いただいた。不登校支援に活用いただきたいとの意向であり、利用人数が増えているゆめハウスのホワイトボード等の備品に充てるべく検討しているところである。
丹後教育長	報告2「後援名義の承認について」、教育総務課に報告を求める。
山内課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告3「第125回丹波篠山市議会議長月会議一般質問について」、教育総務課に報告を求める。
山内課長	《議案書に基づき報告》
西田委員	ゆめハウスの指導員増加については、教育委員会事務局として必要があると考えているのか。
小嶋課長	不登校児童生徒が増えている状況もある中、現在の3名体制では安全管理上も少し厳しい状況にあると認識をしている。これまでは中学生の利用が比較的多かったが、今年度に入り、小学校低学年の利用が多くなる中、その対応についても人手が必要になっていることから、4名体制が必要であると考え、来年度からの市費会計年度職員1名の増員に向け、庁内協議を行っているところである。
西田委員	長年3名体制で来る中で、時には増員を要求したこともあったが実現しなかった。利用者数の幅が大きい施設である中、議会で言われたからではなく、学校復帰を目指す施設の実績等、根拠を持って予算の確保に努めていただきたい。
小嶋課長	議員からの一般質問を受ける前から、増員の必要性を事務局内で共有、検討していたところであり、議会での指摘があつての対応ではない。
丹後教育長	報告4「小中学校児童生徒の問題行動等について」、学校教育課に報告を求める。
小嶋課長	《議案書に基づき報告》

丹後教育長	報告5「令和6年度10月小・中・特別支援学校定例校長会について」、教育研究所に報告を求める。
足立所長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告6「令和6年度学校給食費収支の現況について」、学校給食センターに報告を求める。
井上所長	《議案書に基づき報告》
西田委員	経費を抑えるために、デザート回数や個数削減等、限界まで切り詰めていただいているが、現状の質を維持するためには補正予算を要求する必要があると理解すればよいのか。
井上所長	ご指摘のとおり、フルーツのサイズを変える、旬の素材を使用する等の工夫はしているが、日本一の給食を考えた時、補正予算を要求していきたいと考えている。
丹後教育長	報告7「親子でワクワクフェスティバルの開催について」、子育て企画課に報告を求める。
山鳥課長	《議案書に基づき報告》
鈴木委員	参加人数はどの程度を見込んでいるのか。
山鳥課長	親子で総勢500人程度を見込んでいる。
鈴木委員	昨日、QRコードを読みこんだ結果、詳細がcoming soonになっていたが、いつ頃に掲載される予定か。
山鳥課長	明日の実行委員会で内容を最終決定いただくことになっており、その後、直ちに、詳細を掲載したいと考えている。
西田委員	主催が実行委員会で、支援団体とともに取り組んでいくとのことであるが、支援団体とはどのような団体か。
山鳥課長	5月の市広報で実行委員を募集した結果、市関係課を除き、賛同いただいている団体は、地域おこし協力隊、アグリアグリステーション丹波ささやま、おとわの森子育てママフィールド petit prix～プティプリ～、篠山チルドレンミュージアム、丹波篠山市社会福祉協議会、せせらぎ文庫、みみりん、K's GARDEN の8団体である。
西田委員	そもそもフェスティバルの目的は何か。
山鳥課長	遊びを通じた親子の絆づくり、地域の子育て支援団体とのつながりを深める機会を提供することで、子育てライフのさらなる充実に資することを目的に実施する。

西田委員	<p>子育て中の若い方も「つながり」を求めておられる中で良い取り組みであると思うが、このチラシを見てもそうした意味が伝わってこない。例えば、その団体を括弧書きしておくこととさら理解が深まったように思う。</p>
山鳥課長	<p>チラシについては、本日、市広報紙と一緒に全戸配布させていただく予定です。なお、実行委員会の中で、写真をメインにすること、何か行ってみたいというイメージとする等の提案があり、このようなチラシとなりましたが、ご指摘いただいた子育て支援団体や催しの詳細については、QRコードのほうから見ていただけるようにしていきたい。</p>
鈴木委員	<p>目的で言われた「地域の子育て支援団体とのつながり」について、子育て中の親子と子育て支援団体をつなげるのか、それとも子育て支援団体同士をつなげるのか。</p>
山鳥課長	<p>子育て支援団体と子育て中の皆さんをつなげることでライフスタイルがより充実したものになることが目的の一つであるが、子育て支援団体間のつながりもあわせて持っていただければと思っている。</p>
丹後教育長	<p>報告8「教育長報告」について報告する。</p> <p>前回の定例教育委員会以降のスケジュールについては33～35頁に記載している。市議会の一般質問や各種会議への出席、9月20日であれば篠山鳳鳴高校から招待があり体育祭開会式に参加した。これに加え、9月27日には、来てくれと言われた訳ではないが、たんばさきやま森のようちえんの現場を見ようということで動いている。同じく10月4日には、不登校が増えているということも踏まえ、ゆめハウスの現状を見に行った。また、10月11日には、朝6時50分から子どもたちが城東小学校へ通学している中、保護者より、暑いとともに危険もあるという声を聞き、子どもと一緒に歩いて現状を確認してきた。また、2歳児から未就学の子どもたちがやっている親子で運動会を見るためにB&G体育館に行った。10月16日には記述していないが、インター前にある児童支援センターえがおへ行き、支援の必要な子どもたちがスポーツを通じて、元気に過ごしている実態を見てきた。行ってみたいと分からないことも多く、現場を見ることを大事にしている。</p> <p>次に、10月の校長会では、9月の市議会の一般質問で校長につないでいただいたほうが良いと思ったことをまとめ、伝えた。例えば質問2では、不登校が増えている中、色々な提案をいただいたが、そこで私が思っていることとして答えたことは、不登校児童生徒に対しては、人間関係も含めて様々な学びの場である学校への登校は大事であるが、学校復帰だけを目的にするのではなく、将来の社会的自立が大事と思っており、それに向けて居場所や学びの場をつくるのが大事であると考え、答えている。学校へ行くのが楽しい魅力ある学校づくりを進めて、未然防止や早期対応をしていく旨を答えた。また、私も時折、ゆめハウスや校内サポートルーム、フリースクール、第3の居場所アグリステーション等を訪問し様子を見ている旨を報告した。次に、子どもたちの実態を把握するためにアンケートをとってはどうかとの提</p>

案があったが、今、全員の家に行きアンケートすることは、子どもたちの状態も様々である中、適さない場合もある。学校ではしっかりと実態を掴んでいることを伝えた。

校長会では、議員が言われる中にも大事な視点もあるので、そこを改善、反映させていくことは大事である一方で、現場を見る中で、学校現場でしっかりやられていることを答えていることを伝えるとともに、さらに頑張ってもらっていきましょうという呼びかけをした。今後においても、機会を見つけて現場を見る中で、学校園が頑張っているところを伝えていきたいと思っている。

以上で、本日の審議は全て終了する。

これをもって、第7回定例教育委員会を終了する。